

# 事業報告書

			事業NO	37
事業名	2ndCAMP(NRST)1日目		事業主体	審判員育成強化事業
日時	2021年7月10日(土)19:00~21:00		会場	Web会議
責任者	浦川 昌代	補助者	三ツ溝 勝之・相馬 博之	参加数 30名
講師	津野 洋平氏・永谷 颯太郎氏			
参加者 (敬称略)	岩永、内田、北村、黒澤、酒井、坂本、永尾、永谷颯、原田敬、宮田、諸原、今富、兼俣、木村、松崎、山口孝、浦川、岡田、金崎、菊次、相馬、杉町、津野、永谷真、橋本、原田雄、福田、松田、森田、三ツ溝			
テーマ				
内容	<p>(進行)浦川氏</p> <p>18:45 入室開始・出席確認[浦川氏]</p> <p>19:00~ 挨拶[菊次センター長]……1st合同研修会の反省、残念ながら何名かしか提出がなかった。検証4項目(1)「オフサイドフラッグの見落とし(見遅れ)」と「気づかない選手交替」→フラッグやボードが上がる前から気づいておくべき。日頃から「気づき力」を養うべき。(2)「ベンチからの声」→間違わなければならない。「強い選手を作るため」と気づかせる。(3)「リスタート(トランジション:動き出し)の速さ」→ボールが動いている時に選手は動く。それより早く審判が動くしかない。ポーッとしてはダメ。90分間集中!</p> <p>(4)「最初起こった事象」→最初のファウル&amp;アウトオブプレーに対する対応が杜撰。最初の対応で選手やベンチの審判に対する見方が決まってくる。 NAGASAKIの挑戦「日本一の2級・3級審判員の輩出」→長崎の審判は素晴らしいと言われるように。 2021NRSTCテーマ「強い選手の育成の支援」→判定に文句を言わない選手・ベンチをつくろう。</p> <p>19:16~20:00 特別講座「1級審判員としての活動」しくじり先生「俺みたいになるな!!」[津野氏]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・失敗から何かを学んでいく。土日東京、月曜から仕事という2年間の研修を経て2012.11月、1級審判員登録。JFL副審、後期から主審を務め、2015年J2副審へ。2015年11月14日、J2第41節大宮vs大分戦、大宮は昇格、大分は降格の可能性を残した、どちらも負けられない戦い。前半0-0、後半大分が先制し、54分追加点。66分大分の決定機をオフサイドと誤審。その後、70分・81分に大宮が得点し、87分大宮がPKを獲得し逆転。そのまま終了、大宮はJ2優勝&amp;J1昇格、大分はJ3入れ替え戦へ。その後、J2担当も終了。2016年JFL副審、'18、'19J3副審、'20J2担当。J2に戻るのに4シーズンかかった。その間、考えたこと→実力が足りなかったのでは。(1)副審としての基本(映像の見直し) (2)一つ一つの判定の重み(正しい判定を積み上げることで試合が成り立つ) (3)立場に見合う実力をつけるのは自分(より覚悟をもって) ・「しくじり(ミス)」は必ず自分の糧にする。繰り返さなければ「よい経験」にできる。</li> <li>・試合前の意識→覚悟・自覚・責任をもっと高めたい。 ・皆、限られた時間でトレーニングをやり、仕事もきちんとしながら審判活動をしている。 ・試合には平常心で臨む。映像を見ていいシーンを頭に刷り込む。 ・トレーニングは走る事が基本。毎週試合が続くのでコンディション重視。オンとオフが大切。水曜に負荷をかけるサイクルで。 ・できるだけ家族と一緒にいられるように努め、家族の応援に感謝する。</li> </ul> <p>20:00~20:05 休憩</p> <p>20:05~20:55 特別講座「九州アカデミーを通して」[永谷氏]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊張と現実を突きつけられた! 「yo-yo70本ぐらいいけるように」「私生活がレフェリングに反映する」「探したいものを探す前になりたいものになりなさい」 ・理想の審判になるためには→九州は「高いフィジカル」を選んだが、他地区はどこも「角度」 ・審判として大切なもの=「接遇」(相手が必要としているものを読み取り思いやりやもてなしの思いをもって接する)①清潔な身だしなみ ②明るい挨拶・声かけ ③にこやかな表情 ④態度(立ち居振る舞い) ⑤丁寧な言葉遣い ・自立した審判とは (1)全てに誠実 (2)全力を出し切る (3)仲間を思いやる (4)自分を整える (5)自分に挑戦する</li> <li>・学んだこと ①基本的な努力を毎日する ②常に自分に挑戦する ③試合を盛り上げるのは審判 ④常に見られている意識で ⑤1級は通過点 ⑥自ら積極的にアピールを ⑦NRSTの活動は大切</li> </ul> <p>20:55~21:10 閉会行事 [菊次]間違った行為をしないよう考えながら日常生活を営んでいる。そういう見えないものを積み重ねて行く中、判定や判断に役立っている。自分のやり方を持って。[原田副センター長]強化・アカデミーに足りないのは「覚悟と責任」。それがないから生活にもつなげていけない。</p>			
所感	<p>今回のCAMP初日も多くの学びに満ちた時間となりました。津野氏の失敗に学び、立場に見合う実力をつけるのは覚悟や自覚、責任を持った自分自身であること、永谷氏の九州アカデミーでの学びもとてもいい刺激になりました。参加された方々のご意見やご質問も学びを深める糧となりました。なお、CAMP2日目は白い紙とペンをご用意ください。今回もご尽力いただいた方々、ありがとうございました。</p>			
	文責	三ツ溝 勝之		2021/7/11